

未来に向かって夢を持ち、豊かに生きる浦安っ子の育成

URAYASU STYLE

Vol. 38
2019.09

教育情報誌
うらやすスタイル
浦安市教育委員会



豊かなかかわりの中で 輝く浦安っ子

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、フェンシングの魅力や素晴らしさを体感できるようなフェンシング教室を東野小学校で行いました。



「平成」から、「令和」という新しい時代に移りました。今、世界の大きなスポーツの祭典であるラグビーの国際的な大会が開幕中です。そして来年2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが盛大に開催されることでしょう。今38号では、子どもたちや先生方が、このスポーツの祭典に向けて実際に体験したことや、学校以外の各地域等でも様々な学びの実践がされていること、そしてそれらが実に多くの方々から支援があって成り立っていることを紹介しています。私は、これからの令和の新時代、特にこの10年間で私たちの住む社会は確実に大きく変わっていくだろうと思っています。

ます。その中で学校教育が社会の変化の速さに追いついていない感じがします。それは、教育には「不易」「不変」、「必ず身につけておかなければならない基礎・基本」などがあり、また、発育や発達に適時性など発達段階に応じた時期に、この内容をといった法則的なものも存在するからなのでしょう。しかし、常識や基礎・基本も、時代の流れや社会の価値観等によっても変化するものです。子どもたちには、今号で紹介した学校以外の様々な人との出会いや体験等を通して、「不易」と「流行」を子どもたち自身が自分の目線や感覚で感じ取ってほしいと願っています。

浦安市教育委員会 教育長 鈴木 忠吉

豊かなかかわりの中で輝く浦安っ子

スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育む

東京2020オリンピック・パラリンピック、2019年、ラグビーの国際的な大会の開催に向けて

次世代を担う子どもたちがスポーツの楽しさやボランティア精神の大切さを感じ、また、グローバル社会や障がいへの理解を深められるような学びの機会を設けています。

●パラアーチェリー体験

浦安市運動公園のアーチェリー場で、パラアーチェリーの日本代表選手に教えてもらいながら、実際に矢を射る体験をしました。体験後はグループごとに分かれ、選手と交流しました。

Q アーチェリーをやっていて一番うれしかったことは何ですか。

A アーチェリーを通していろいろな人と出会えたことです。

Q 練習が大変な時はどうしますか。

A 選手同士で相談したり助け合ったりしています。

パラアーチェリーとは、50mまたは70m先にある的をねらい、得点を競う肢体不自由の選手を対象としたアーチェリー競技のことです。オリンピックとほぼ同じルールで行われますが、障がいの内容や程度に応じてルールや用具の変更が一部認められています。



（美浜南小学校）
アーチェリーの体験をする児童



グループごとに選手から話を聴く

●フェンシングはどこの国が発祥のスポーツでしょうか？（答えはフランスです）

このような質問からフェンシング教室が始まりました。フェンシングには、全身がターゲットとなるエペ、胴体だけがターゲットとなるフルレそして、上半身がターゲットで、「突き」だけではなく「斬る」も有効となるサーブルの3種類があることを知り、日本人トップ選手の試合を観戦しました。だんだんと応援する声が大きくなり、最後は、小学生も中学生も立ち上がって大きな声で応援しました。

その後、当たってもいたくない柔らかな素材でできている剣を使うプラスチックフェンシングやスマートフェンシングを体験しました。応援する楽しさや実際に競技をする楽しさを味わいました。

1896年の第1回オリンピックから今までの間、ずっと続いている競技は、陸上、水泳、体操、自転車競技とフェンシングの5種目だけだそうです。



スマートフェンシング体験をする（東野小学校）

立ち上がった応援する（見明川中学校）

●オリンピック・パラリンピックを活用した教育

体育館で目隠しをして横たわっている学校の先生たちは、パラリンピック競技のゴールボールの練習をしています。ゴールボールとは、アイシェード（目隠し）を着用して鈴の入ったボールを転がし、相手のゴールにボールを入れて競う競技です。



右上の写真がなんだかわかりますか？これは、ボールをレジ袋で包んでテープで留めたもので、転がすと「カサカサ」と音が鳴ります。本物のゴールボールのボールは高価なものですが、このボールならどの学校でもゴールボールを行えますね。先生たちはゴールボールの授業を行うためのコツややり方を教わりました。



ゴールボールの体験をする先生方

●スポーツの集い

パラリンピック競技の車いすバスケットボールやゴールボールを体験できるスポーツの集いが総合体育館で開催されました。あいにくの雨で外での活動は中止となってしまいましたが、ユニバーサルホッケー、スラックライン、タグラグビーの体験コーナーもあり、園児、小学生、中学生から大人まで、気持ちの良い汗を流していました。



ゴールボールの体験を楽しむ



車いすバスケットボールを体験する

●タグラグビー教室

浦安市を公認キャンプ地としているニュージーランドのラグビー協会のコーチによるタグラグビー教室が市内の小中学校で開かれました。多くの子どもたちは初めて触るラグビーボールに戸惑いながらも、「象の鼻のように腕を動かしてボールを投げる」「ハンバーガーを食べるのように手を構えて、ボールを取る」など、コーチからのアドバイスを受けながら楽しく活動しました。

パスの練習や腰に付けたタグを取り合う鬼ごっこのような練習をし、最後は、試合をして盛り上がりました。子どもたちの感想には「コーチが優しく、親切で、また、会いたい。最初はルールがわからなかったけど、ルールがわかった」とありました。



“ハカ”を教わる（明海南小学校）



タグを取られないように走る（東小学校）



象の鼻のようにボールを投げる（東小学校）



給食をコーチと一緒に食べる（東小学校）



パスの練習をする（明海南小学校）

地域のかで子どもたちを育む

● 地域の人たちの力で子どもたちを育む（青少年自立支援未来塾）

学習習慣の定着や学力の向上を図るため、市内の全中学校の生徒を対象に公民館やまちづくり活動プラザで実施しています。夏休み中に実施した英語教室では、94名の生徒が参加し、英文法を中心に1学期の復習を行いました。

9月からの数学教室でも、地域の教職経験者や大学生が学習支援員として、生徒一人一人のつまずきや課題に応じた個別支援を行っています。



わからないところを1対1で教わる

（元町未来塾の様子
中央公民館）

学習支援員の声

■英語に苦手意識があっても、何度も質問してくれたり、辞書やテキストで調べながら問題を解いたり一所懸命取り組む姿勢に胸を打たれました。4回と短期間でしたが、回を重ねるごとに笑顔で問題を解く生徒が増え、一人一人の成長を感じることができました。

学習支援ボランティアの声

■毎回、生徒さんたちと会えるのを楽しみに参加していました。一生懸命取り組む姿に感心させられたり、「わかった」という笑顔にこちらが嬉しくなったり、未来に繋がる貴重な時間を一緒にさせていただき、とても嬉しく思いました。

生徒の声

- 英単語が書け、意味が分かるようになって本当に嬉しいです。英語を好きになったし、力がついたなと感じました。（中1）
- 英語が好きじゃなかったけど、たくさん問題を解き、納得するまで教えてもらったので少し自信ができました。できれば2学期以降も通いたいです。（中2）

● “地域を知る”経験を通して子どもたちを育む（ふるさとうらやす立志塾）



鈴木教育長による講話・ワークショップ



乗船体験の様子



卒塾生との交流

各中学校から推薦を受けた中学2年生27名が集い、令和元年度ふるさとうらやす立志塾が7月6日に開塾しました。「志を立てること」の大切さを受け継ぎつつ、地域を知り、学校や地域での実践を視野に入れた「郷土愛」を深める研修を行いました。

8月7日～9日は、うら・らめ～るで、宿泊研修を行いました。市長をはじめ、教育長、西脇保幸塾長の講話やワークショップから、「リーダー性」や「郷土愛」について学びました。

鈴木教育長の講話を基に、それぞれが所属する部活動を振り返り、グループで現状や課題、解決策を考えました。また、3人の卒塾生から、「立志塾から学んだこと」を聞くことで、自分のロールモデルを考えました。

乗船体験や博物館での学習を通して、境川の水辺から浦安の歴史を考えました。8月26日に行われた夏季研修報告会では、研修で学んだことを発表するだけでなく、2学期に向けての決意表明も行いました。来年1月16日には、研修で学んだことを、学校生活にどのように生かしたか最終報告をする予定です。

塾生の感想

- 乗船体験を通して、改めて、浦安は漁業で栄えた町だったことがわかりました。見たことのない魚や鳥を見て、水辺の環境を私たちが守っていかねばと思いました。
- この立志塾で、いろいろな見方をすることが大切なことを学びました。今後は、相手の立場を考え、1つの物事に対して、多面的な見方ができるリーダーになりたいです。

● 地域の企業のかで子どもたちを育む（郷土博物館「鉄鋼団地を探る」）

浦安市にある鉄鋼団地には、製鉄所でつくられた鉄を在庫しておく倉庫と、様々な技術を取り入れ加工を施す、鉄鋼専門の工場が集まっています。そしてなんと、浦安市の鉄鋼団地は、鉄の取扱量「日本一」の流通基地となっています。

鉄鋼団地を探る！

鉄鋼団地にある工場がどのような高い技術をもっているのかを学ぶために、工場見学をしました。参加した子どもたちは、「鉄鋼団地が日本一の鉄の流通基地だとは知らなかった」「鉄鋼団地の技術が、日本や世界で役立っていることを知った」と驚いていました。



鉄鋼団地にある工場を見学する

鉄を使った工作

鉄鋼団地の方に教わりながら、鉄をたたいたり、曲げたりして、スプーンやフックをつくりました。鉄は硬そうに見えますが、実は柔らかくしなやかな素材です。鉄の柔らかい特徴を、体験を通して実感できました。



鉄鋼団地の方の技術を間近で見る

鉄を曲げてフックが完成！

● 地域の大学のかで子どもたちを育む（うらやすこどもクエスト）



口の中にある細菌を調べてもらう



明海大学の先生による歯磨き指導

「大学で自分の『好き』を見つけよう！」をテーマに市内の順天堂大学、了徳寺大学、明海大学と、墨田区の千葉工業大学の4会場で様々な授業が行われました。明海大学では、「お口の不思議 大発見」を授業テーマに、「どうして虫歯になるのか」「唾液のはたらきとは？」などについてわかりやすく教えてもらいました。その知識を基に歯磨きの実習を行いました。歯磨きの大切さを実感することができました。

● 地域、園、学校が連携し、子どもたちを守る（北部っ子見守り隊）

子どもたちの交通安全、防犯を目的に、学校や園の先生と保護者、公民館や自治会など地域の方が一緒に、12のグループに分かれて学区をパトロールしました。下校の様子や通学路の危険箇所がないかどうかを確認し、子どもたちの安全を守るために、学校・家庭・地域それぞれにできることは何かを考えました。

地域によるセーフティネットワークの1つとして、10月より毎月1日、15日を「北部っ子見守りの日」として、教職員、保護者、地域住民が腕章を付けて子どもたちに声かけを行う“北部版8・3・5運動”を実施することになりました。



見守りの悪い通見つけ、問題点を話し合う



浦安の子どもたちのために様々な場面で活躍してくださっている方たちを紹介します。



富岡中学校区 学校支援コーディネーター



富岡中学校区の学校支援コーディネーターの方と富岡中学校の丸山教頭先生にインタビューしてみました。

活動でつながる

竹田 子どもたちへいろいろな職業の方にお話してもらってキャリア教育では、そもそも地域のお父さんたちの広い人脈



で、こんな人がいるよとつながっていきました。毎年続けていくことで、そのデータを蓄積して、また次の年に生かしています。この他にも、富中学区では、防犯マップ作りやミシン支援、花植え、草むしりなど様々な活動が行われていて、コーディネーター、学校、PTAとの連携がうまくいっていると思います。

たくさんの“やりがい”

松浦 お花の植え替えや水やりの活動をしていますと、通る皆さんにすごく喜んでいただいて、「いつも見てるわよ」とか「ありがとう」と言われるのが、嬉しくて励みになります。



富岡中学校区の
学校支援コーディネーター

丸山教頭先生

永利 昭子さん

竹田 奈美さん

松浦 容子さん

す。多くの人とつながりが持てて楽しいです。

永利 子どもの表情やキラキラした目を見ると「ああ、やって良かったな」と思います。最近、ご高齢の方や祖父母と子どもたちのふれあいも少なくなっているので、コーディネーターとしてそういった機会を設けることで、皆がうれしそうにしていると、こちらもほのほのします。



今後の取り組み

丸山 何よりもありがたいのは、子どもたちにかげえのない体験を提供してもらっているということです。PTAからちょっと離れた立場で、5年・10年という長期間関わってくださる点が重要です。私たち教員は異動があるので本当に助かっています。しかも皆さんに、学校と関わるようになって楽しいとおっしゃっていただけるので、更にうれしいです。今後も多くのことを学校、PTA、コーディネーターの皆さんでやっていきたいと思っています。



取り組み

境川クリーン活動



富岡中学校と富岡小学校の境川沿いにたくさんの花が咲いているのを見たことがありますか？この花は、富岡中学校区の地域の方、児童、生徒、園児たちが境川沿いを掃除し、きれいにした後に、みんなで植えたものなのです。この「境川クリーン活動」は、何と20年も続いている活動だそうです。



この活動のように地域と学校とが協働して行う活動をコーディネートしている方を“学校支援コーディネーター”といいます。今年度は、市内の各小中学校に44名いらっしゃいます。





調査から見える 浦安っ子の今



地域に愛される境川にするために、自分たちにできることを考え、発表する（東小学校）

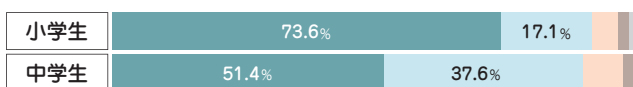
自分の住んでいる町や地域が好き

浦安市の小中学校の児童生徒を対象に、平成30年度に実施した浦安市生活実態調査では、「自分の住んでいる町や地域が好きだ」の質問に肯定的（とてもそう+まあそう）に回答した小学生は90.7%、中学生は89.0%でした。

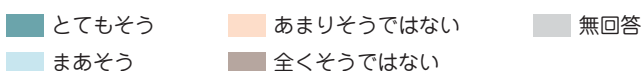
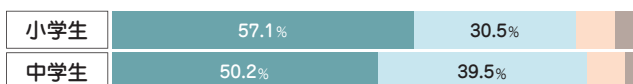
「近所の人にあいさつをしている」（とてもそう+まあそう）と回答した小学生は87.6%、中学生は89.7%でした。

浦安子どもたちは、地域の人達に温かく見守られながら育ち、自分たちの住んでいる町“浦安”が好きだと感じています。

Q 自分の住んでいる町や地域が好きだ



Q 近所の人にあいさつをしている



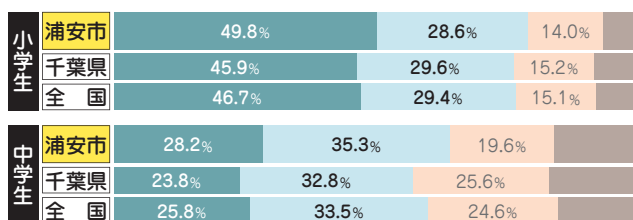
地域のことをもっと知ってもらいたい

小学6年生と中学3年生を対象に行われた令和元年度全国学力・学習状況調査では、「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」の質問に、肯定的（当てはまる+どちらかといえば）に回答した小学生は78.4%、中学生は63.5%で、全国値より小学生は2.3ポイント、中学生は4.2ポイント高くなっています。

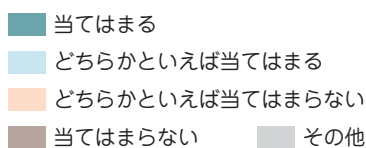
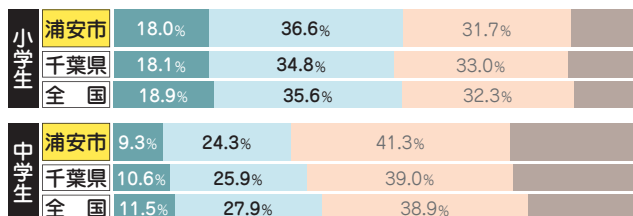
一方で、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問に、肯定的（当てはまる+どちらかといえば）に回答した小学生は54.6%、中学生は33.6%で、小学生は全国値と同程度で、中学生は5.8ポイント低くなっています。

多くの浦安っ子は、自分たちの住む町“浦安”を、他の地域の人たちに、もっと知ってもらいたいと思っています。このような気持ちを大切に、地域、家庭、学校が連携、協働して子どもたちを育てることにより、自分たちの力で、自分たちの住む町をよりよくしていこうとする参画の意識が高まるのではないかと考えます。

Q 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか



Q 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



三番瀬環境観察館

オープン



三番瀬環境観察館が6月2日にオープンしました。三番瀬の自然を活用し、環境に対する理解や関心を深めてもらうための施設で、野鳥などの生き物や干潟の様子を観察することができます。学校での活用も9月から順次始まります。

観察館でのプログラム例

- 干潟の観察
～身近な干潟環境を体験し、生物の多様性について調べよう
- 干潟の浄化実験
～アサリやカニなどの生き物の浄化能力を実感しよう
- 三番瀬は何でできている？
～三番瀬の砂を観察して、その由来について考えよう
- 海の素材で描こう
～海の自然素材を探し、砂の上に自由に表現しよう



夏休み中の子どもたち

中央図書館司書による
読書感想文講座

東小学校では、夏期補習として、浦安英語かるたで遊ぶ、読書感想文の書き方、プログラミング教室など10の講座を開設しました。子どもたちは行きたい講座を選択し、意欲的に参加しました。



ICT支援員によるプログラミング教室



夏休み中の先生たち

算数の指導法について学ぶ



先生たちは、8月1日からの自己研修啓発期間に、国語、算数・数学といった各教科の指導法や、不登校、いじめ、情報モラルといった今日的な教育課題など17の教育実践講座の中から、自分自身の課題に即した研修を選択し、自己研鑽に努めました。



小学校の外国語科の授業づくりについて学ぶ

ひとりで
悩まないで！

相談窓口のご案内

子どものこと、学校のこと、進路のこと
お気軽にご相談ください ※祝日は休み

相談名	相談内容	対象	相談日と期間	相談場所と電話番号
子育て	子育てに関する相談	0歳～就学前児とその保護者	月～金曜日 9:00～16:00	①子育て相談室(集合事務所3階) ☎306-3715 ②子育て相談窓口(市役所2階) ※面談のみ
就学相談	特別な教育的支援が必要な子どもの就学相談 園・学校生活、通級指導教室の利用に関する相談	園児・小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	教育研究センター まなびサポート (富岡小学校内)☎381-7961
学校生活	学習、進路、問題行動など学校生活に関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	指導課(市役所7階) ☎712-6775
教育相談	不登校や子どもの友人関係、性格・行動等に関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 10:00～17:00	適応指導教室 猫実教室☎351-1151 入船教室☎711-2336
いじめ110番	いじめに関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	電話相談 *メール相談可 相談専用 ☎0120-211-380
青少年	問題行動、家庭生活など青少年に関する相談	20歳未満の青少年	月～金曜日 10:00～正午・13:00～16:00	青少年センター(市役所7階) 相談専用☎351-1152
生涯学習相談	学びたいこと、習いたいことなどの相談	一般	月～金曜日 9:00～17:00	生涯学習課(市役所7階) ☎712-6792



小・中学校には、スクールライフカウンセラーが全校配置されており、直接、子ども・保護者からの相談(友達関係、学業、セクハラ、いじめ、不登校及び登校しぶりなど)に応じています。

教育情報誌



発行/浦安市教育委員会 浦安市猫実1-1-1 TEL:047-712-6732 企画・編集/教育政策課

豊かに生きる浦安っ子の育成のためには、わたしたち大人(学校・家庭・地域・行政)が手を携え、社会全体で子どもたちの豊かな学びやかかわりを支えていくことが大切です。教育情報誌「うらやすスタイル」は、子育て・教育について、みんなで考え実践していくために、学校教育をはじめ、生涯学習の取組、地域と子どものかかわりなどの教育情報を発信していきます。